

【正誤表】

- ・ P.14 4) おかずの品数 ◆児童生徒向け 共同調理場方式 の 円グラフの数値
もっと多い方が良い 正：22.3% 誤：23.1%
もっと少ない方が良い 正：4.8% 誤：5.0%

- ・ P.15 5) 給食時間の長さ ◆児童生徒向け 共同調理場方式 の 円グラフの数値
給食を食べる時間は十分 正：54.8% 誤：45.2%
給食を食べる時間は不十分。短い。 正：45.2% 誤：54.8%

- ・ P.25 (3) 調査結果総括 5行目
正：・・・、家庭の事情によっては、昼食を持たずに・・・
誤：・・・、家庭の事情によっては、昼食を待たずに・・・

【修正する箇所】

- ・ はじめに 5行目の文章を次のとおり変更
「平成13年度には、施設の老朽化等に伴い第一学校給食共同調理場が閉鎖され、市内の学校給食共同調理場は2つとなりました。」
⇒
「平成13年度には、施設の老朽化及び行政改革の一環で第一学校給食共同調理場が閉鎖され、市内の学校給食共同調理場は2つとなりました。」
- ・ P.1 第1章(1) 共同調理場 4行目に次の文章を追加
「各共同調理場の食数が多く、現場に制約がかかっています。」
- ・ P.7 表の下に注釈を追加
「※配缶とは、出来上がったおかずをクラスごとの食缶に分け入れること。」
- ・ P.28 第3章(2) 1) 安全・安心な給食の提供 7行目の文章を次のとおり変更
「また、アレルギーへの対応にも積極的に取り組みます。」
⇒
「また、地元や近隣地域の産物を日常の献立に活用を図るとともに、アレルギーへの対応にも積極的に取り組みます。」
- ・ P.37 3) 総合評価・方向性 下から5行目の文章を次のとおり変更
「また、新しい共同調理場の建設場所・配送ルートによっては、旧尾西・木曾川地区の学校も配送校に加える検討が必要です。」
⇒
「今後、これらの考え方を基に、各項目に対する重要度や優先度をランクづけし、実現のための具体策や代替策を関係者の協力を得ながら基本計画を策定します。」
- ・ P.38 第5章 今後の進め方 1行目の文章を次のとおり変更
「第4章で総合評価した通り、ケース①と②のどちらの場合でも、共同調理場の新規整備を進める必要があります。」
⇒
「第4章で総合評価した通り、ケース①と②のどちらの場合でも、共同調理場の新規整備を進める必要がありますので、関係者の意見を聞きながらアレルギー対応なども含めた基本計画を策定します。」